

魔法の聖水

これは魔力回復
アイテムであり、



通常は人間が
使用するものである。

ローリー
ローラー

大丈夫か

ダメかも…

…

随分魔力を
失っているようだ

吸わせて
あげられは
いいのだが…

生憎自分の体に
宿っている
魔力も少ない

二人に魔力を
与えようにも
難しい状況…

そうだ

トッ
ッ







二人共、顔が
真っ赤だぞ…!

っ!?

もしかして
この回復薬…!

モンスターには
酒のような効果
があるのか…!?



う〜…

で
出ちやう…

え…?



もじ〜…

もじ〜…

何とかするから
少し待って
いなさい!



効果を分解する
薬など持ち合わせて
いない…!

ふっ〜…♡

今すぐにでも
調合するべきか…!

ぶ〜…



水分を与えたら
その分出るの
当たり前だ



ローリーローラーは
食事や水分を
必要としない

魔力だけで
生きている種族



すっかり
忘れていた……



やけに
甘ったるい
香りだ…

フヤリ…

…出たなら
早く帰ろう

こんなところを
人に見つかりでも
したら大問題だ



このまま
じゃ

かえれない
よお……



ねえ…っ

おねがい…

出たところ

おくちで
きれいにしよう…

な…っ

…並んで立って
脚を上げなさい

いっ…

お…

いっ…

甘…

ローリーローリーの
尿に催淫効果でも
あるのか…?

果汁のような
味がする…

こつちまでおかしな
気持ちになってきた
じゃないか…!!

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ぽっ…

ぽっ…

ぽっ…

せせせせ

ぽっ



♡...まだ♡

あ...まだ...♡



.....

わたしも...♡

あ...♡

ね...
またきれいにして...



お父様
おかえりなさい

随分遅かったん
ですね？

アッ

顔が赤く
なってますけど

どうかされた
んですか？



ローリーローラー
絶頂回数:10回
放尿回数:8回
魔力吸引:2回
HP/MP 満タン

おい

おめめ

あのねー

スミギン

え!!?

絶対に
言わない

もしかして
風邪...?

キャラ説明とストーリー補足

ローリーローラー



右(名前): 右目が出ている方
左(名前): 左目が出ている方

ローリーローラーにしては珍しく、
人懐っこく友好的で知能が比較的高く、
意思疎通が容易な個体。
現在好感度MAX状態。
とはいえ、どこまでいってもモンスターなので
あまり言うことを聞かない。

アイテム収集を手伝うため、ヴァルベルと一緒に
森の奥深くに入ったが魔力が尽きてしまった。

人間の食べ物・飲み物を摂ると体内で特殊な分解がされ、
何が起こるか分からないリバルブ〇テ状態になる。
食べなくても生きていけるが、食べることも可能。

ヴァルベル



ネーミングセンスが皆無な医者。
各地を転々と渡り歩き、恵まれない人間や
傷ついた冒険者を無償で治療している人格者ではあるが、
表面上は理屈っぽく無愛想で怖がられがち。
薬を調合したものや、ドロップアイテムなどを売買して
生計を立てている。

生まれつき魔力の貯蔵量が少ないが、懐かれた
ローリーローラー2体によく魔力を吸われている。

女難の相アリ。

シルヴィー



ヴァルベルに拾われた元孤児の見習い魔術師。
「お父様」と呼ぶが血の繋がりはない。
普段はアイテム収集についていくが今回は待機組。
モンスターと仲良くなるのが得意。

出自は、病院で使われ捨てられた包帯やガーゼなどが人間の血液+魔力を基に人型化したもの。
ローリーローラーが少女型ばかりなのは、血液と魔力の主が女性だから。
産院や病院の近くの森では特によく見かける。

ローリーローラー

Rolly Roller

▶おまけ

基本右目or左目しかなく、
包帯の下に目は無い
(空洞、もしくは普通の皮膚)

目が完全に無い
個体も

魔力によって
周囲の知覚ができています



楽譜記号

単眼の個体は
「フェルマータ」
と呼ばれる

倒すと普通の個体より
経験値は多く貰えるが
逃げ足が速い

激レア個体

ドロップアイテム
伸縮性のある包帯
薔薇色の寶石
薄紫の絹糸

包帯フォーム



基本無表情。
感情が豊かで人間に
友好的な個体もいる。

体が包帯でできているモンスター。
擬態・変身能力に長けており、包帯の姿になっていることも。
手足を包帯にして冒険者に巻き付き、
魔力を奪い取ることで生き長らえている。
魔力を吸い取る度に髪、手足が紫色になっていく。
全身が真っ白な個体はお腹を空かせている個体なため要注意。
巻き付かれたら最後、立てなくなる程に魔力を吸い取られるが、
死ぬことはない。

火、斬属性に弱い。
倒した際、稀に仲間になってくれる。

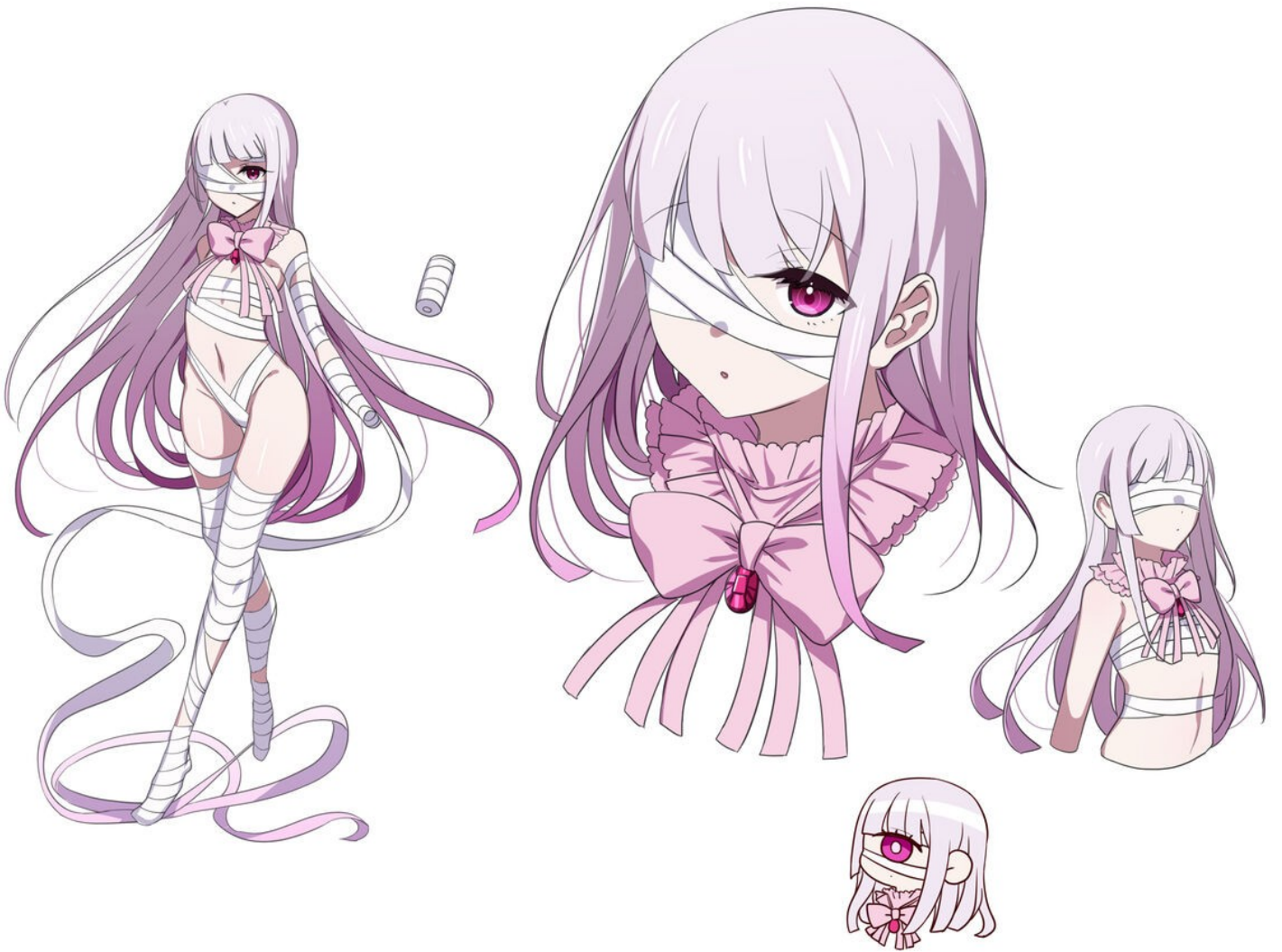
初心者経験値上げのためによく倒される程度には
弱々雑魚モンスター。魔力を奪い取る以外は基本無害。
見た目の儚さ・可憐さがゆえに愛好家もいるらしい。

昔、娼婦や奴隷にしようとした人間がいたが、
HPが少なくすぐに死んでしまう上、
人間の命令を聞く個体が少なかったため
失敗に終わっている。



知能が人間の3~6歳程度あるため、
人間の言わんとすることは何となく伝わってる。
でも言うことは聞かない。







※ここから先、2014年産

ろりーん と ぽるべるさん



2014/03/06

この人は
ぽるべるさん



旅の途中で
はぐれた娘さんを
探してるんだって

私はローリーローラー



ぽるべるさんに
ほれた
モンスター

このローリーローラー
も、ぽるべるさんが
すきなんだよ



ぽるべるさんも
わたしたちに
ほれればいいのに



ね？
何が？

魔力吸収



ぼるべるさん
ぼるべるさん!

何

わたしたちに…
名前つけたほうが
いいんじゃないかな…

何だこりゃ



ヘットでも仲間でも
ないモンスターに
名前を付けていいのか?

つけた方が
良いのなら…まあ

考えない
こともないが…

そうだな…



右と左
でいいか

左目出てから

右目出てから

その後またのみこみましたが、
結局名前らしい名前は
つけてもらえませんでした



……そうだなあ



はいっ

しつもんです！
ばるべるさんの娘さんって
どんなひとですか！

しるっ



一言では表せないな

だが
大切な一人娘では
あることは確かだ

……まあ血は繋がってはいないし、
外見も私に似て非なるものだが
肉親と思える程には
絆はある……と思いたいな



どういふこと？

……
かれこれ
数年前の話だ

貧困層の人間の治療をするため
スラム街に立ち寄った際に
通りがかったゴミ捨て場で
横たわっているシルヴィーがいた

…君

パン、食べるか？

ま…

死んでいるか心配したが
パンを気持ちよくがつついていて
安心したのは今でも覚えている

食べたいよとミミちゃんも言っている

君、親はどこだ？
通りがかりついでに
親にも分け与えてくるが…

何だ？

「発語できない 親がいない」
ジェスチャーを繰り返し見て
ようやく涙み取れた

視力も失っているらしく
聴力を頼りに動いている
ことにも気がついた

シルヴィーを見ているうちに
スラム街で食べ物漁っていた
自分の幼少期を思い出した

スラム街に住む孤児は多い
一人一人救っていても
キリがないことは幼少期から
理解していた…が

私は…この子を生かしておきたいと強く思ったお祖父様もこんな気持ちで私を救ってくださったのだろうか？



シルヴィーに与えた視力矯正、脳機能矯正魔術具は高く付いた



今まで旅をしてきて宝石を売払った分と治療費として頂いた金銭の殆どが飛んだ当時の所持金は小銭のみだった



え、嘘…どうして視えてるの？



だが後悔はしなかった

しかも頭がクリアっていうか…



最初のうちは慣れず、言葉が出にくかったようだったが…



お祖父様が私にそうさせたように世を渡り歩くための基礎知識や語学などの勉強をさせたところ、私が覚えるまで三年かかったものをシルヴィーは半年で完璧に覚えた

言うまでもなく…
樂立てるまでの時間は、
私と比べ物にならない程
短かった

お父様！これ……！

元はお父様の服ですよね？
私が着ていいのですか？

もちろん

勝手に使ってもいいよ

とても嬉しいです！
こうやってこの服は
受け継がれて
いくのですね……！

宿屋 DE
ファミリア
ニール



シルヴィー

夜が明けたら独りで
ここを発ちなさい

その服を受け継がせたのは…
君がもう独りて
生きていけると見込んだからだ

はい？





私がしてあげられるのは
ここまら

突き放すようで悪い
だが、私が縛っておくには
勿体無い…逸材だと思う



ばかばかばか！
お父様のばか！

浮遊の魔術？！
教えた覚えは無いぞ

私は！お父様と生きて
お父様と死ぬのが
夢なのです！

お父様に救ってもらった命を
お父様のために使わずして
何になるというのです！



絶対に離れませんですしー

や、やめな

今度また私を突き放す
素振りでもしたら
お父様の恥ずかしい秘密
バラしますよ！

え、何を
知っているんだ？！

いつそのこと
キセイジジツを作って
妻になりますよ！

血繋がってないから
いけますよね！

断る！

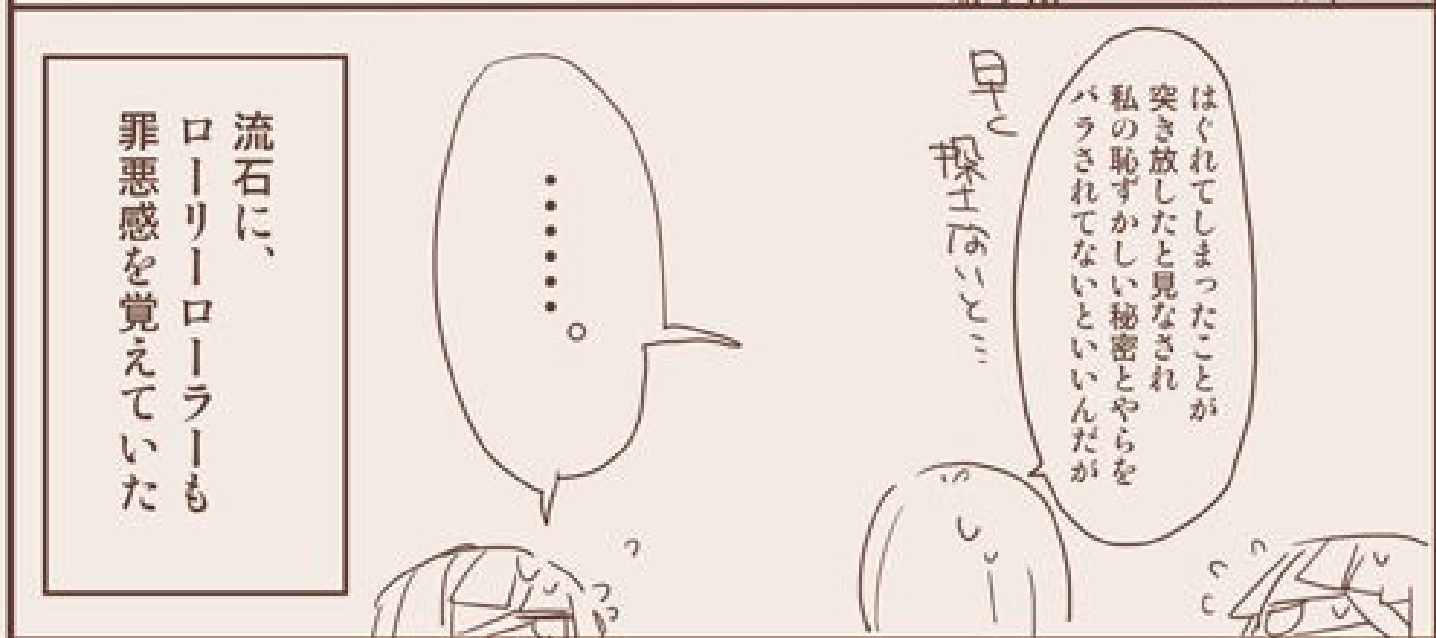


ろりこん？

で、押し切れず
今に至るわけだが…

ふあざいこん？

うるおい



はぐれてしまったことが
突き放したと見なされ
私の恥ずかしい秘密とやらを
バラされていないといいんだが
早く
探してしまえ…

……。

流石に、
ローリーローラーも
罪悪感を覚えていた

